

# Hello! FUJISEI

No. 188

超高齢社会の到来とともに、長くなった老後を不安なく暮らすにはそれなりの準備が必要です。

金融広報中央委員会が毎年実施している「2013年 家計の金融行動に関する世論調査（二人以上世帯調

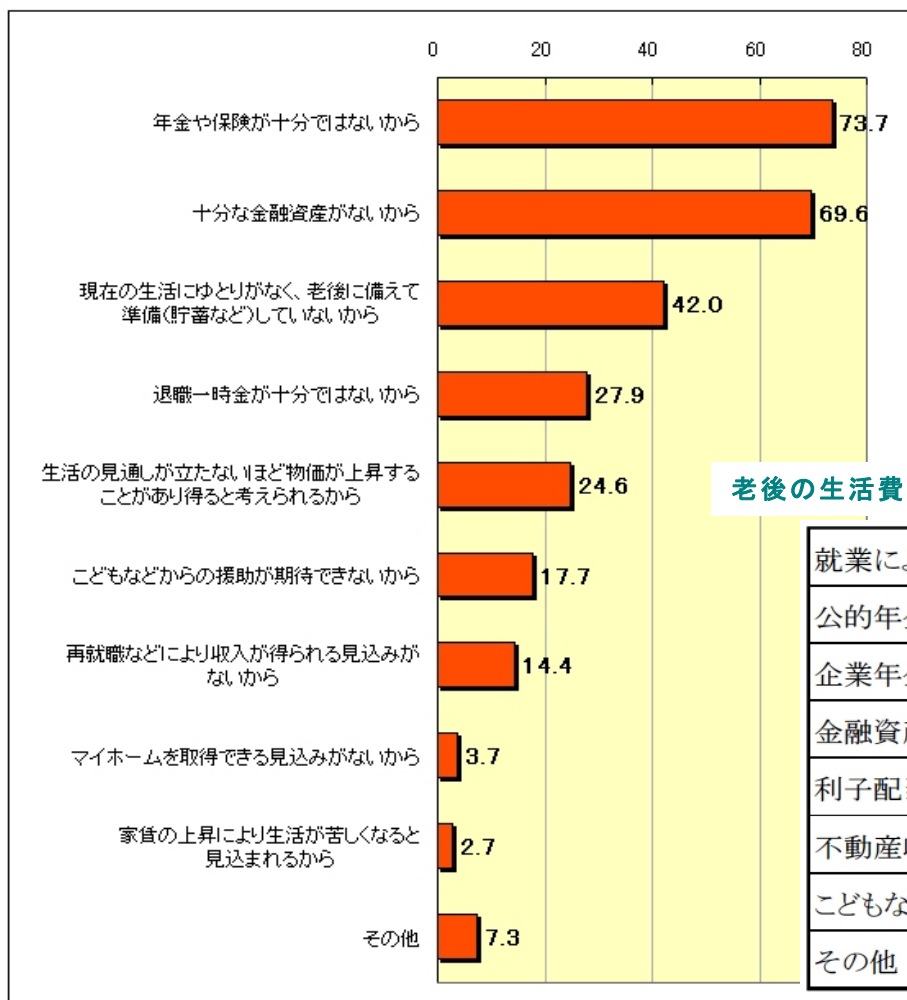
## 8割強の世帯が老後生活が心配だ！

# 年金や保険、金融資産が十分でないから

査）」から、老後生活についての意識をみてみると、昨今の社会・経済状況を反映してでしょうか、「心配である」（非常に心配39.2%と多少心配42.4%の合計）が81.6%と、8割強の世帯が心配だと感じているという結果が出ています。

「心配である」と答えた世帯について、その理由について尋ねてみると、「年金や保険が十分ではないから」「十分な金融資産がないから」を挙げる割合が7割と高くなっています。また、現在の生活にゆとりがなく老後への準備ができていないという状況も見えてきます。

### 老後の生活を心配している理由（複数回答、%）



老後の生活費の収入源については、「公的年金」が約8割となっていますが、「就業による収入」「企業年金、個人年金、保険金」も4割前後となっています。

年金への考え方では、「日常生活費程度もまかなうのが難しい」と回答した世帯は47.7%と前回(45.0%)に比べて上昇し、「ゆとりはないが、日常生活費程度はまかなえる」(47.2%)と逆転しています。

### 老後の生活費の収入源（3つまでの複数回答、%）

就業による収入	43.2
公的年金	78.4
企業年金、個人年金、保険金	37.9
金融資産の取り崩し	27.1
利子配当所得	2.4
不動産収入(家賃、地代等)	5.6
子どもなどからの援助	4.1
その他	4.9